

## コンパニオンプランツ（混植）アレロパシー（他感作用）について

ネギ ニラ にんにく類	各種野菜から花まで	連作障害 土壌病害 防虫効果
セロリー	トマト 白菜 キャベツ	独特の匂いでモンシロチョウが来ない
マリーゴールド	なす 瓜類 菜っば類	センチュウ害に卓功 強い匂いが虫除けにもなる
いんげん	とうもろこし 馬鈴薯	虫がつかなくなる
トマト とうがらし	キャベツ 白菜 大根	モンシロチョウ予防
レタス	キャベツ	モンシロチョウ予防
ごぼう	ほうれんそう	どちらも生産性アップ
廿日大根	瓜類(根元に植える)	大根の匂でウリハムシが来にくい
生姜 ミツバ	胡瓜(根元に植える)	半日陰で育ちがよい
レタス	人参	どちらも生育がよい
麦類	瓜類 茄子 サツマイモ	麦類はすべての野菜と相性よい
アスパラガス	各種野菜	防虫センチュウ予防効果

ネギは豆類の生育を阻害する。
ハウレン草の後の胡瓜は不調、トマトは暴れる。
ジャガイモの後のエンドウはだめ。
ジャガイモとショウガもダメ。生育不良。 (ジャガイモの茎葉をショウガの敷き藁代わりに用いただけでショウガの種代もでない)
エンドウの後のハウレン草は病気がでる。

連作傷害は微生物の問題といわれておりますが、コンパニオンプランツやアレロパシーについては、根からの分泌液の化学作用が原因と考えられるようです。

また、害虫となる昆虫が食べ物となる野菜の種類を選ぶ性質を逆手にとって、嫌いな植物を近くに植えれば、被害が少なくなることがわかります。

皆様の野菜作において、農薬の使用を減らせる一つの方法として、お役立てください。